

みずほCustomer Desk Report 2023/06/26号 (As of 2023/06/23)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	143.18
TKY 9:00AM	143.02	1.0957	156.71	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	143.87	1.0960	156.81	1.2746	0.6760
SYD-NY Low	142.67	1.0845	155.07	1.2750	0.6767
NY 5:00 PM	143.71	1.0897	156.59	1.2685	0.6663
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,727.43	▲ 219.28	日本2年債	▲0.0800%	0.0000%
NASDAQ	13,492.52	▲ 138.09	日本10年債	0.3600%	▲0.0100%
S&P	4,348.33	▲ 33.56	米国2年債	4.7488%	▲0.0411%
日経平均	32,781.54	▲ 483.34	米国5年債	3.9928%	▲0.0492%
TOPIX	2,264.73	▲ 31.77	米国10年債	3.7357%	▲0.0599%
ソコ日経先物	32,700.00	▲ 805.00	独10年債	2.3550%	▲0.1315%
ロンドンFT	7,461.87	▲ 40.16	英10年債	4.3115%	▲0.0550%
DAX	15,829.94	▲ 158.22	豪10年債	3.9970%	0.0380%
ハンセン指数	18,889.97	▲ 328.38	USDJPY 1M Vol	8.93%	0.32%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	9.82%	0.18%
NY金	1,919.10	6.40	USDJPY 6M Vol	9.73%	0.14%
WTI	69.16	▲ 0.35	USDJPY 1M 25RR	▲0.65%	Yen Call Over
CRB指数	263.00	▲ 2.72	EURJPY 3M Vol	9.54%	0.50%
ドルインデックス	102.90	0.52	EURJPY 6M Vol	9.60%	0.38%

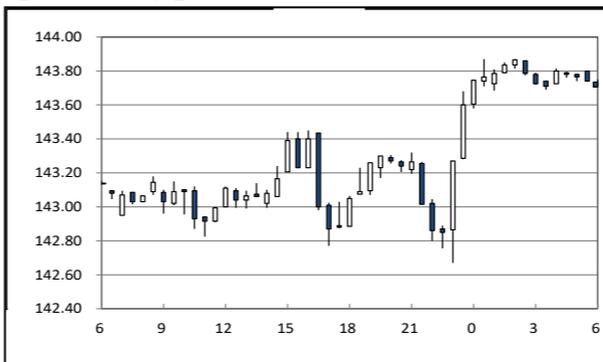
【昨日の指標等】

Date	Time	日	Event	結果	予想
6月23日	08:30	日	全国/全国コア/全国コアコアCPI	5月 3.2%/3.2%/4.3%	3.2%/3.1%/4.2%
	16:30	独	製造業PMI・速報	6月 41.0	43.5
	16:30	独	サービス業PMI・速報	6月 54.1	56.3
	16:30	独	コンポジットPMI・速報	6月 50.8	53.3
	17:00	欧	製造業PMI・速報	6月 43.6	44.8
	17:00	欧	コンポジットPMI・速報	6月 50.3	52.5
	17:00	欧	サービス業PMI・速報	6月 52.4	54.5
	17:30	英	製造業PMI・速報	6月 46.2	46.8
	17:30	英	サービス業PMI・速報	6月 53.7	54.8
	17:30	英	コンポジットPMI・速報	6月 52.8	53.6
	22:45	米	製造業PMI・速報	6月 46.3	48.5
	22:45	米	サービス業PMI・速報	6月 54.1	54.0
	22:45	米	コンポジットPMI・速報	6月 53.0	53.5

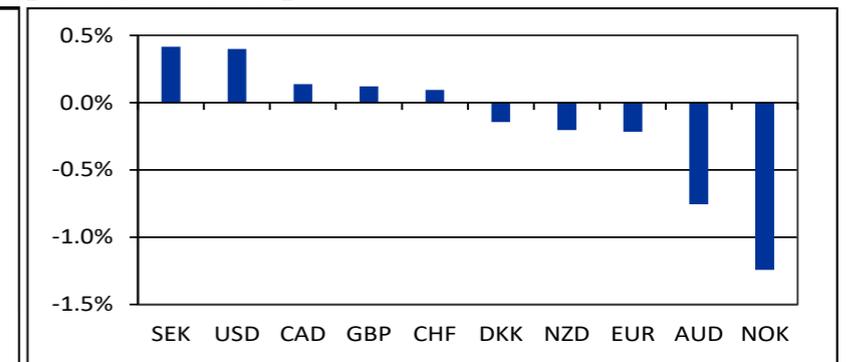
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
6月26日	08:50	日	日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-
	17:00	独	IFO企業景況感/現況/期待指数	6月 90.6/93.5/88.1	91.7/94.8/88.6

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.80-144.20	1.0850-1.0960	155.50-157.50

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は海外時間に上昇する展開。143円を挟んで一進一退の動きが続いたあと、サンフランシスコ連銀のデイリー総裁が、FRBが年内にさらに2回利上げするのが「非常に理にかなった予想だ」と言及したと報じられると、FRBの利上げ継続観測とともにドル円は上昇。年初来高値となる143.87円まで上昇し、高値圏の143.71円レベルでクローズ。本日のドル円は、引き続き堅調な推移を予想。日本と主要中銀との金融政策スタンスの違いから、円売りドル買いが進みやすい地合いは続きそうだ。昨年11月高値142.25円レベルを明確に上抜け、次は節目の145円が意識される。ボラティリティは一時よりやや上昇するも、依然低い状況にありキャリートレードを睨んだ円売りも出やすいか。一方、足元の急ピッチな上昇に警戒感も強く、昨年9月介入時の145円も近づいていることから、上昇の勢いは緩やかになるとみる。また先週金曜日はユーロ円などクロス円が乱高下しており、急激に進んだ円安の反動で、クロス円主導で円買いが一時的に強まる展開にも注意。

東京	東京時間のドル円は143.02レベルでオープン。東京時間オープン前に発表された全国コアCPIが市場予想を上振れたことや日本株の下落を背景に142.83まで下落する場面もあった。その後、円売りが優勢となるとドル円は143.44まで上昇し年初来高値を更新。結局143.24レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、143.24レベルでオープン。米金利の急落を背景に142.77円まで売られ、結局143.26レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0930レベルでオープン。独6月PMI速報値、ユーロ圏6月PMI速報値ともに予想を下回ったことを受け、1.0845まで下落し、結局、1.0877レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2711レベルでオープン。英6月PMI速報値もまた予想を下回り一時1.2685まで下落。一方、市場は英政策金利が1998年来最高となる6.25%まで上昇することを織り込み、ポンドはもみ合いながら1.2737まで反発し、結局1.2721レベルでNYに渡った。欧州株は各指数とも全面安で推移した。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、143.26レベルでオープン。オープン直後はじり安で推移し、142.67まで値を下げる。続いて発表された米6月S&Pグローバル米国製造業PMIとコンポジットPMIは予想を下回ったが、サービス業PMIが予想を上回り、買いで反応。その後も欧米主要国と日本の金利差拡大を意識した円売りがサポートとなり、143.87まで上昇し、年初来高値を更新する。午後高値圏での推移が続き、週末を控え次第に小動きとなり、143.71レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台半ばでスタート。HCOBユーロ圏6月製造業PMI、サービス業PMI、コンポジットPMIが総じて予想より悪化した内容を受け、ユーロ圏の経済が一段減速している思惑から、売りが優勢となり、1.08台半ばまで下落。その後下げ渋り、1.0877レベルでNYオープン。午前中は1.0890付近を挟んだ狭いレンジでの推移が続く。午後も特段材料が見当たらない中、始終1.0890付近の揉み合いとなり、1.0897レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山岸・西